

令和7年度学校評価に関するアンケート項目一覧および結果のまとめ

領域	アンケート項目	結果のまとめ
1 学校経営	特色ある学校づくりを行い、積極的に広報活動を行っている。	各学科の特色を活かした教育に邁進したが、生徒の進路実現にはさらなる工夫や深化が必要だ。広報の充実を図る一方、組織としての規範意識をより強固にし、全教職員が一致団結して課題解決に挑みたい。個々の生徒の可能性を伸ばすため、学校として誠実に歩みを止めることなく改善を続ける。
	教員間の連携が密に行われ、管理職への報告・連絡・相談が適切に行われている。	
2 学習指導	授業時間の確保に努め、シラバスに基づき計画的に学習指導を行っている。	生徒の主体的な学びや探究活動の時間を生むため、既存行事の最適化を継続した。一方で、学習環境のさらなる充実には常に追求すべき課題である。今後、AIの活用やICT等の先端技術を授業へ取り入れ、指導法の刷新に努めるとともに、校内外の公開研究授業等を通じた授業改善等を通じた自己改革を継続する。
	指導力向上の研究に努め、研究授業や授業アンケートを通して授業改善に取り組んでいる。	
3 生徒指導	基本的生活習慣の確立を目指すとともに、スマートフォンの使用モラルや交通マナー、防災・防犯意識の高揚に努めている。	生徒が心安らかに学べる場を築くため、規律や安全意識の醸成に努めたが、絶えざる目配りが求められる。各種調査を基に細かな変化を捉え、マナーや防災意識の向上を支援した。今後も個に寄り添う温かな姿勢を崩さず、より強固な安心感の提供を追求したい。
	「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・迅速な対応を行っている。	
4 進路指導	進路指導の研修を計画的に実施し、進学等をめぐる現状の理解を深めることに努めている。	担任による個人面談を重ね、外部と繋がる多角的な進路支援に熱意を注いだ。情報の最適化にはまだ改善の余地がある。機を逃さぬ資料提供を徹底しつつ、教員と保護者が学び合う研修も継続したい。生徒や保護者の期待に応えられるよう、今後も更なる指導・支援の質の向上を目指す。
	進路に関する情報・資料を整理し、これを生徒に活用させることで、個々に応じた進路指導を行っている。	
5 特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じたLHRや学校行事を適切に行っている。	個々の生徒の内面的な成長を支えるため、心に響く行事や活動の設計を模索し続けた。部活動等を通じた人格形成には手応えを感じつつも、多様な感性への配慮には一層の研鑽が欠かせない。絆を深める場をより豊かにし、人権意識を高める挑戦を誠実に継続したい。
	部活動を通して、豊かな心情と集団の中での社会性を養っている。	
6 学校図書館	朝読書の時間を設定し、読書の大切さに気付かせ、読書習慣の定着に努めている。	読書を通じた豊かな感性の育成を目指し、朝読書や環境充実に注力した。一定の成果はあったが、多様な情報への関心をどう広げることが今後の課題である。図書便りの刷新や配架の工夫を重ね、「知の拠点」そして「心安らげる居場所」としての魅力を高めたい。生徒と本を結ぶ努力を、誠実に継続する。
	図書に関する情報をわかりやすく丁寧に提供し、生徒の図書館利用を促進するよう努めている。	
7 保健・安全指導	生徒の健康管理、事故・怪我への対応を適切に行っている。	生徒の健康と心の安定を支えるため、適宜の情報発信と多職種連携を推進した。個々に寄り添う支援体制は進展したが、二重の複雑化への対応は道半ばである。今後も専門機関と緊密に連携し、誰もが安心して学べる環境を築くため、誠実に歩みを進めていきたい。
	教育支援体制に基づき、支援の必要な生徒への手立てが適切に行われている。	
8 人権教育	一人ひとりがお互いに尊重し、信頼される学級や学校づくりに努めている。	生徒が自分自身の問題として人権を捉えられるよう、指導の焦点を絞った啓発活動、行事、統一ホームルーム等の取組を積み重ねた。教員自身の研鑽を含め組織的に取り組んでいるが、内面的な変容を促す難しさを痛感している。今後も多角的な視点から学びを深め、全校で温かな共生社会の実現を追求したい。
	すべての教育活動を通して、人権意識を高める指導を行っている。	
9 環境教育	資源保護の意識を高め、校内の美化に努めている。	校内の美化や環境美化に組織的に取り組み、良好な学習環境の維持に努めた。一方で、SDGsへの理解を各教科での学びと結びつけつつあるが、実践知としての定着にはまだ伸び代を感じている。今後も足元の清掃を大切に、地球規模の視座を養う指導を誠実に深めたい。
	SDGsの視点を取り入れながら環境学習に取り組み、社会貢献への意識を培っている。	
10 事務・管理	施設・設備・備品・薬品等の点検を行い、適切に管理している。	生徒の安全を最優先に、設備の点検や修繕に注力したが、老朽化への迅速な対応には絶えざる注視が必要だ。情報管理においても厳格な多重チェックを継続している。現状に慢心せず、物理・情報の両面で強固な施設管理の基盤を築き、信頼される学校環境を誠実に追求したい。
	文書や電子データを適切に管理し、個人情報の保護を厳格に行っている。	
11 その他 学校の取組み	学校行事や研究成果を、ウェブページ等で保護者や地域に積極的に公開している。	個を尊重し、誰もが自分らしく輝ける温かな校風の醸成に努めてきた。一定の成果は見られるが、共生の深化にはさらなる対話が欠かせない。日々の歩みはWeb等で透明性高く発信し、地域と共に歩む姿勢を大切にしている。今後も絆を深め、信頼の輪を広げる情報発信に誠実に挑みたい。
	生徒が安心して学べる環境を確保している。	

令和7年度学校評価におけるアンケート結果に係る学校独自の分析および次年度に向けての改善策

項目ごとの学校評価の活用等について(課題の改善に向けた具体的な取組み等)

- 1 学校経営
 - ・三つの学科・コースの強みを伸ばし、地域に信頼される進学校であり続けるため、皆様から届いた切実な声を真摯に受け止めます。保護者の方々や地域との対話を重ね、そこで得た気づきを日々の教育活動の改善に結びつけ、組織として絶えず進化することを目指します。
 - ・本校が目指す教育の姿や方針をより身近に感じていただけるよう、ホームページ等での発信内容を見直します。生徒たちの挑戦や学校の日常を、適時かつ丁寧に分かりやすくお伝えすることで、開かれた学校づくりをより一層力強く進めてまいります。
- 2 学習指導
 - ・生徒の将来の夢や希望を大切に、基礎から応用まで着実な力の定着を目指して授業のあり方を見直します。生徒が学ぶ楽しさを実感し、自ら進んで机に向かえるよう、教職員も日々の指導技術を謙虚に磨き続け、一人ひとりの意欲に火をつける授業づくりに全力を注いでまいります。
 - ・手元のタブレット端末を最大限に活かし、最新の AI 技術なども柔軟に取り入れながら、今の時代に求められる教育環境を整えます。個々の理解度に合わせたきめ細かな学びと、仲間と知恵を出し合う学びをうまく組み合わせ、時代に取り残されない質の高い教育を誠実に追求していく所存です。
- 3 生徒指導
 - ・生徒一人ひとりが抱えている課題や不安等の日常的な把握に努め、学級担任による定期的な個別面談や、学校生活アンケート等を通じて、生徒に寄り添った温かい生徒指導・支援を行う。
 - ・校外の関係機関やスクールカウンセラー等とも緊密に連携し、いじめの防止、基本的生活習慣の確立、スマートフォン等の使用モラルの向上、交通安全・防災・防犯に対する意識の醸成等について、実効性のある取組や指導を組織的に展開し、生徒の心理的安全性が担保された教育環境づくりを進める。
- 4 進路指導
 - ・生徒が抱える悩みや不安をいち早く察知できるよう、日頃のコミュニケーションを大切にし、定期的な面談やアンケートを通じて一人ひとりの心に寄り添います。生徒が自分らしく安心して学校生活を送れるよう、担任を中心に、温かみのあるきめ細かなサポートを積み重ねていく所存です。
 - ・専門のカウンセラーや関係機関と手を取り合い、いじめ防止や SNS の利用マナー、交通ルール、防災意識の向上に組織全体で取り組みます。安全への配慮が形骸化しないよう常に点検を怠らず、生徒たちの心が安定し、のびのびと学習や活動に打ち込める環境を、保護者の皆様と共に築き上げたいと考えています。

- 5 特別活動等
- ・行事や部活動をとおして、互いの個性を認め合える仲間づくりを応援します。生徒が自ら考え、行動する力を十分に引き出せているかという点にはまだ課題がありますが、今後も工夫を重ねることで、自分たちの手でより良い人間関係や学校の伝統を築いていけるよう、粘り強く支えていく所存です。
- 6 学校図書館
- ・年2回の朝読書を通じ、本に親しむ時間の大切さを生徒と共有しています。読書の習慣化には個人差があることが課題ですが、手元に一冊の本がある豊かさを実感してもらえるよう、今後もこの時間を守り、一人ひとりが言葉の力を養う機会をさらに広げてまいります。
 - ・新刊案内や委員会活動を伝える「あさかせ図書館だより」の発行を続け、本を身近に感じてもらう工夫を重ねます。本を探す場所としてだけでなく、生徒がほっと一息つけるような居心地の良い空間づくりにも注力し、より多くの生徒が自然と足を運びたくなる図書館を目指します。
- 7 保健・安全指導
- ・警察などの専門機関と力を合わせ、登下校の交通マナーや社会ルールの定着に努めます。教員による朝夕の見守り活動を地道に続け、生徒たちが安全への意識を自分自身のものとして持てるよう、日々の声かけを通じて粘り強く丁寧に指導してまいります。
 - ・生徒が抱える悩みや体の不調をいち早く察知できるよう、校内の支援体制をより確かなものに整えます。一人ひとりの小さな変化も見逃さないよう目を行き届かせ、心身両面の安全をしっかりと守り抜くことで、保護者の皆様が安心して大切なお子様を預けられる環境づくりに全力を尽くします。
- 8 人権教育
- ・学年ごとに学習テーマを設定し、3年間かけて重層的に人権意識を高める指導を行っている。人権統一LHRでは、感想文を書いて終わりにせず、生徒同士の意見交換等を通じて、様々な意見があって良いことや、自分の意見と同じ人もいること、自分を大切にすることで、他者も大切にできることなどを知り、学びを深める工夫を講じている。
 - ・外部講師による講演やワークショップ授業、人権教育共同映画鑑賞、通信「あさかせ」(人権編)の発行等も併せて実施し、「仲間と共に学び、考え、感じる学習」をとおして、今後も、高い人権意識を兼ね備えた人材育成に取り組んでいく。
- 9 環境教育
- ・日々の掃除や学期ごとの大掃除を通じ、ゴミの分別や美化活動に全員で取り組んでいます。当たり前のことを継続する難しさはありますが、清潔な環境を保つ意識は少しずつ育っています。今後は校内だけでなく、地域の清掃ボランティアなど、社会の役に立つ活動へも一歩踏み出せるよう、生徒の意欲を後押ししたいと考えています。
- 10 事務・管理
- ・安全管理や適正な会計処理を徹底し、学びの基盤を整えてきました。今後は特に、個人情報の保護について、これまで以上に厳格なチェック体制を組織で維持します。現状に甘んじることなく、ミスを防ぐ細心の注意を払いながら、信頼される学校運営に誠実に努めてまいります。
- 11 その他学校の
- ・互いの個性を認め、安心して高め合える校風づくりに努めます。日々の教育活動の様子は、ホームページ等を通じて積極的かつタイムリーに発信し、保護者の皆様や地域の方々と本校の歩みを共有しながら、より開かれた学校を目指してまいります。